

自作教具の活用事例

【作品名】 ローマ字カード	【学校名】 日立市立山部小学校
【活用できる領域・教科等】 国語・自立活動	【制作者名】 荒川 祐子
【制作の意図】 国語の学習でローマ字は3年生から始まるが、パソコンやタブレットの文字入力にもローマ字は欠かせない。自分の手でカードを操作することでローマ字の仕組みがわかり、ゲーム感覚で楽しみながら、まずは読めるようにする。	【使用方法】 ・子音カード・母音カードをそれぞれめくり、組み合わせてできたローマ字を読む。 ・指示された音を、カードをめくってローマ字で表す。 ・一人学習でも、ペア学習で問題を出し合っても使える。
【制作上の工夫】 ・アルファベットの大文字・小文字をセットで覚えられるように、1枚のカードにどちらも表示した。 ・カードがバラバラになると規則性がわかりにくいので、順に並べてリングでまとめた。 ・仕組みがわかりやすいように、子音と母音のアルファベットの色を変えた。 ・カードにインデックスラベルを貼り、読みのヒントを与えた。 ・読み慣れてきたらラベルをはがせるようにした。	【見取り図】 A4サイズ用紙にプリントアウトする。 ラミネート加工後、裁断して穴を開ける。インデックスラベルシールを貼る。 A5サイズの2リングファイルに綴じる。
【写真】	【使用効果と応用発展】 ・ローマ字一覧表を見るだけでは習得できなかった規則性が、カードを操作することで体感できた。 ・大文字と小文字が共に表示されていることで大文字小文字のマッチングが習得できた。 ・読み方を習得した後は、ローマ字入力や、カードを手本として書く学習につなげる。
【材料・材質・部品等】 ・アルファベットカード（A4用紙） ・ラミネート加工 カッター 穴開け ・インデックスラベルシール ・A5サイズ2リングファイル	